

東京教区時報

第1186号
2010年11月21日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇11月の代禱・信施奉献先
▽笹島キリスト教連絡会のため
▽滝乃川学園のため▽障害者週間のため(14日〜20日)▽人権活動を支える主日(11月最終主日11・28)

▽プレ宣教協議会報告会 今夏行われたプレ宣教協議会参加者による報告。27日(土) 14時半、聖アンデレ教会聖アンデレホール。照会〓教区事務所宣教主事宛(常置委員会主催)。

▽聖マーガレット教会《マーガレットコンサート》オルガン・オーボエ・ハーブの調べ
28日(日) 14時半。演奏〓三浦はつみ(Or)・山本洋子(Ov)・瀬川真未(Hp)。入場無料(会場献金)。照会〓03(3334) 2812・同教会。

▽エイズ・デイ記念礼拝 教区人権委員会・日本キリスト教団新宿コミュニティ伝道所の共催で28日(日) 17時より聖バルナバ教会で。カトリック、ルーテルなども共にささげる、教派を超えた礼拝。会場〓03(3268) 8067。
▽一羊会集まり(人権を守るための対話) 韓国映画『赦しその

今週・来週の予定 11月21日~12月4日

- | | |
|-------|--|
| 21(日) | 降臨節前主日
外濠・山手・環状・多摩各G教会協議会
下町G・ダワーニ主教講演会
モニカ会幹事会
主教座聖堂：光の礼拝 |
| 22(月) | ハラスメント防止委員会
教役者会 |
| 23(火) | (休) 銀座朝拝会 |
| 26(金) | 正義と平和協議会運営委員会 |
| 27(土) | 「プレ宣教協議会」報告会 |
| 28(日) | 降臨節第1主日
城南G教会協議会
エイズデイ記念礼拝：人権委 |
| 30(火) | 人権：日の丸・君が代 |
| 12月 | |
| 1(水) | 信仰と生活：冊子編集 |

遥かなる道』上映会。27日(土) 14時。聖三一教会。照会〓042(393) 2256・森田。
◆とこしえの平安
11月1日 荒木愉喜香(86)
11月9日 本間 武(92)
11月11日 越部 逸平(93)
神田キリスト 神田キリスト 三光

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

去る10月17日、たくさんの人びとの祈りに支えられて、わたしたち三光教会は新しい聖堂を神に献げる恵みに与りました。その感謝の集いで挨拶に立った一人の司祭が語りました。「教会は神と出会うところですよ」と。思えば今から10年以上前、はじめて勤務した教会で、「神さまに会わせてください」と訪ねて来た人が居ました。社会のあまりの冷たさに失望し、温かさ求め、神に会うために教会に来たという、その人の疲れた顔は今でもはっきり覚えています。神に会いたいと切望する人の願いに、教会は何と応え得るか。今あらためて思います。

今日、多くの行き詰まりや失敗を抱え、それでも、諦めず、もう一度頑張ろうとする人びとが居ます。しかし、社会はそ

すべての人を神の御手に結ぶ

の再挑戦の努力に報いようとはしてくれないし、周囲の人は誰も力を貸してくれない。信頼の不在を嘆く、そのような現実の直中に多くの人はいわれています。だからこそ、教会はその現実には抗いつつ、神に出会えるところ、神を示し続ける信頼の器でありたいと思ふのです。

神の御手は、たとえ信頼の不在を嘆くときでも、確かにわたしたちに向かって開かれて希望の御手です。この神の御手にすべての人を結ぶこと、そして、すべての人の中に優しさと温かさとして、信頼が取り戻されること、その務めを教会は担っている。と堅く信じます。そのために、教会共同体自らが、神の御手に結ばれた、優しさと温かさとして信頼に満ち溢れた共同体でありたいのです。

(三光教会副牧師)

第114 (定期) 教区会開催

秋の教区会は20日(土)、聖アンデレ主教座聖堂・聖アンデレホールで行われた。審議事項等報告は次号以降に。

常置委員会報告(11月9日)

*三光教会聖堂聖別式、主教会、合同堅信式、臨時教区会終了、など管理主教報告。

*墓地礼拝終了、主教当選確認書を管区事務所へ提出、財務諸表、財政委員長の交代など、主教チャプレン、各主事等の報告を了承。

*2011年新年礼拝を1月8日(土)10時半から行う。

*主教按手式・主教就任式は管区主催で行われる。

*秋の(定期)教区会へ提出する議案(東京教区施行規則一部

変更の件など)を確認し了承。

*その他

◇来日中のスヘイル・ダワーニエルサレム教区主教(予定)

*21日(本日)、浅草聖ヨハネ教会の主日礼拝で説教。15時、信徒向け講演会「エルサレム教区の教会と諸施設の働き」両教区の協働の可能性を求めて」。

*22日(月)11時、夫妻でアンマン女性会議リユニオン集会。14時、教役者会で講演会「パレスチナで今何が起きているか、そこにおける教会の任務とは何か」。同日16時、関西へ。

*25日(木)、エルサレム教区協働委員会懇談会「今後の協働に関して」。

*同日(帰国)。

▽山手教会グループ降臨節前夕の《光の礼拝》27日(土)18時、聖マーガレット教会。司

式Ⅱ田光信幸司祭、補式Ⅱ山手教会G司祭団、説教Ⅱ挽地茂男牧師(聖公会神学院専任教員)。照会Ⅲ03(3422)1

037・聖十字教会(幹事)。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂降臨節第一主日唱詠晩禱

聖公会の伝統的な夕への礼拝、音楽に彩られた祈りのとき。28

日(日)16時。司式Ⅱ中村邦介司祭、メッセージⅡ佐々木道人司

祭、オルガン・指揮Ⅱ岩崎真実子・礼拝堂聖歌隊他。照会Ⅲ03(5370)3038・同院キリス

ト教センター(水曜以外)。

▽モニカ会幹事会21日(本日)15時、聖公会神学院で。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

「クローズアップ」67

みんなできつくる「バリアフリーのクリスマスパーティー」

この催しも来る、12月11日(土)に第10回を迎えます。

外濠グループと障害者プロジェクト(当時)の主催で2001年12月8日に開催された第1回は「障害者とともに楽しむクリスマスパーティー」という名称でした。障害者プロジェクトの日高馨輔執事が私の属する聖バルナバ教会の「ろぼの子会」(日曜学校)に関わっておられたことも外濠グループでこの行事を始める気運を生じさせた要素のひとつであると言えます。

当時はこれを継続的に行うという決めは特になく、今年もまたやりましょうというようなことで続

けてまいりました。が、その内「来年もあるのですか」という声が出だし、「来年もまた会いましょう」という挨拶が交わされるようになって来て、今ではすっかり参加者のほうが期待している感があります。

「バリアフリーのクリスマスパーティー」となったのは2004年からで「障がい」の有無にかかわらず、あらゆる違いを乗り越えて共に交わり…(当時の案内状から)との思いがあったからです。

主催者がお膳立てをして参加者をお迎えするというより参加者も主催者もいっしょに全体を造り上げるという趣旨で「みんなできつくる」という言葉を冠し準備段階から全員で造り上げるというプログラムで行っており

ます。

詳しくは、当日参加していただいでのお楽しみではありませんが概容を申し上げれば、いくつかのグループにわかれて、クリスマス音づくりや飾り付けをしたり、ご馳走を作ったりの準備をして、それを持ち寄ってクリスマスを楽しむ、というものです。

互いのペースに合わせてゆったりした時間を共有し受け入れ合うことが実感できる《みんなできつくる「バリアフリーのクリスマスパーティー」》に、あなたも参加しませんか。プレゼンともあります。

外濠教会グループ・障関連共催
クリスマスパーティー実行委員

鵜飼良機